



令和6年度／7月発行／富山市立東部中学校

「自分で考え行動する力」を高めるために ～ 履き物をそろえること ～

校長 守田 志津子

1学期は、授業、生徒会活動、部活動の中で、たくさんの成長の場面を見ることができました。工夫を凝らし学習ノートづくりをする姿や楽しんで生徒会活動に協力する姿、部活動の準備を黙々と行う姿など、「自分で考え行動する姿」を見ることができ、うれしく、頼もしく思いました。

下の写真は3年生の下足箱です。さすがは3年生！内履きがきちんと入っています。脚下照顧(きゃっかしょうこ)という言葉思い出しました。

「脚下照顧」は、曹洞宗の開祖である道元禅師が開いた永平寺の玄関に掲げられた貼り紙にある言葉としてもよく知られています。「足下を見なさい」から転じて「履き物をそろえましょう」と使われています。そもそも「脚下」とは足元のこと、「照顧」とは照らし顧みる、つまり「我が身」や「我が心」を振り返る、自分が今どのような立場や状況にいるか確認しなさい、ということの意味しています。

登校時は、みんな様々な心の状態で学校に来ていると思います。疲れていたり、自分の思い通りにならないことがあってイライラしていたりすれば、整理整頓もおろそかになります。心に少しゆとりがあれば、自分を冷静に顧み、人を思いやることも人を許すこともできると思います。「履物をそろえる」ということは、小さな行動かも知れませんが、そういう些細なことを丁寧にできるかどうか、今の自分の状態が現れてくるように思います。

学校でも家庭でも、玄関で「履き物をきちんとそろえること」を実践してみてもどうでしょうか。小さな行動ですが、気持ちの区切りをつけることや自分を振り返ることの積み重ねで、自分の心を整えていくことができると思います。生徒の皆さんの1学期の成長「自ら考え行動する力」をさらに高めることにもつながると思います。

はきものをそろえると 心もそろろう
心がそろろうと はきものがそろろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかが みだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世の中の人の心もそろろうでしょう

藤本 幸邦(ふじもとこうほう:長野県円福寺住職)さんの詩



市選手権大会・市民体育大会・県選手権大会

6月中旬から7月中旬にかけて、運動部の大会が行われました。3年生にとっては2年半におよぶ活動の集大成となる大会で、皆、精いっぱい頑張りました。



富山県吹奏楽コンクール



7月13日(土)、吹奏楽部が富山県吹奏楽コンクールに1年生13人を含む部員23人全員で出場しました。

生徒が印象派の音楽、絵画、そして世界の文化をリスペクトし、熱心に研究した結果、3年連続の金賞を受賞しました。

『社会に学ぶ『14歳の挑戦』』

7月1日(月)から7月5日(金)まで、2年生が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を行いました。生徒たちは、初めての経験に戸惑いながらも、一生懸命活動し、たくさんのことを学んだ1週間であったと思います。保護者の皆様にもボランティアとしてご協力いただき、ありがとうございました。



< 8・9月の主な行事予定 >

< 8月 >

5日(月) 北信越大会 (~9日)
13日(火) 学校閉庁日 (~15日)
17日(土) 全中大会 (~25日)
27日(火) 始業式
(給食なし、午後放課、部活動可)

< 9月 >

2日(月) 体育大会団結成式
4日(水) がん教育出前授業 (2学年)
21日(土) 学校公開日 (弁当必要)
24日(火) 体育大会予行練習
26日(木) 体育大会
30日(月) 振替休業日